



それほどめずらしくないんです。

過剰歯と欠如歯



あごの中で歯が余分にでき、ほかの歯が生えるのを邪魔するのが「過剰歯」。
歯があごの中でうまく育たず、歯の本数が少ないのが「先天性欠如歯」。
間違った方向に生える「迷子の歯」もときどきあります

歯はあごの中でどう育っていく？

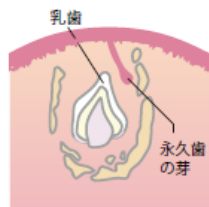
2~4
月頃

★乳歯の歯胚（歯の芽）は、妊娠約7週目からでき始めます。



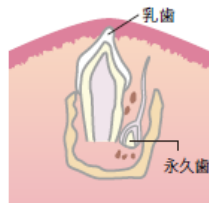
5~7
月頃

★乳歯は4ヵ月後半から歯の石灰化（硬くなる）が始まります。



~お誕生

★乳歯が生える準備ができました。誕生頃より永久歯の石灰化が始まります。



←--- これがうまくいかない？

歯の芽が多くできすぎて余分な歯が育ってしまう「過剰歯」



永久歯の生え代わりはうまくいくのが当たり前と思いがちですが、じつ意外に油断はできないことが明らかになっています。

永久歯が生えるのを邪魔する「過剰歯」は約30人に1人、永久歯の数が足りない「先天性欠如歯」のお子さんともなると、約10人に1人いるというデータがあるんです。

お子さんの歯がなかなか生え代わらないと、「どうしたのかな？」と心配になりますよね？歯が生える時期には個人差がありますが、あごの骨の中で起きていることは外側から診てもわからないので、一度レントゲンを撮って調べておくと安心でしょう。

歯の芽ができなかったりうまく育たず、永久歯が足りない「欠如歯」

